

令和7年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

【基本方針 1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出（施策の方向Ⅰ 心の豊かさを目指して、Ⅱ 文化芸術をすべての市民に）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R 7 計画時	R 7 実績	R 7 目的達成度、課題など	めざす姿	R 8 計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
															R 6	R 7 速報値
1		多文化共生センター事業	多文化共生課 伊賀市国際交流協会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	多様な文化的背景がある市民が、お互いの文化を学び、正しい理解を深めることで多文化共生の地域づくりを進めます。	参加者数	100人	270人	子育てサロン、世界の料理教室～インドネシア料理～、旧正月と一緒に祝おう！イベントを実施しました。中でも旧正月イベントでは、中国、ベトナム、フィリピンの文化を体験するブースを設け、多文化理解を深めるとともに、特に旧正月を祝う国出身の市民との交流の場となりました。	継続	270人	3ー9 多文化共生	満足度 参画度	60.1%	41.2% 5.7%
	開催数						2回	3回	2回							
	開催経費						60,000円	148,163円	100,000円							
	収入							38,300円								
2		国際交流事業	伊賀市国際交流協会（伊賀市国際交流フェスタ実行委員会） 多文化共生課		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	在住外国人と地域住民の交流の場を提供し、市民の国際意識の向上と相互理解、友好交流を深め、多文化共生社会の構築を目指します。	参加者数	1,000人	1,500人	国際交流フェスタでは、8か国14ブースの出店と9団体によるステージがあり、多くの方が外国や日本の料理や民芸品、踊り、音楽などに触れ、交流することができました。また、自国の食や文化を自ら披露できる場として、外国人住民が主体的に参加する大変意義のある機会となっています。	継続	1,100人				
	開催数						1回	1回	2回							
	開催経費						650,000円	1,095,621円	750,000円							
	収入							318,000円								
3		伊賀市民美術展覧会 （市展「いが」）	文化振興課 （公財）伊賀市文化都市協会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	市民の造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、市民文化の向上に寄与します。	参加者数	1,400人	1,233人	出展数は154点あり昨年度より23点増えました。高校生の出品は昨年度より24点増えました。 展示期間中（4日間）昨年度より226名増の1,233名に来場いただきました。 課題は、会場の展示方法や分かりやすい導線確保です。	継続	1,300人	3ー6 文化・芸術	満足度 参画度	49.2%	42.9% 8.1%
	開催数						1回	1回	1回							
	開催経費						625,000円	652,000円	625,000円							
	収入															
4		伊賀市民文化祭	伊賀市民文化祭実行委員会 文化振興課	伊賀芸術文化協会、 各支所管内サークル 連絡協議会、各活動 ジャンル代表者	1-Ⅰ 1-Ⅱ 3-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	文化芸術活動に取り組む市民の日頃の活動の成果を発表する場として開催することで、市民の文化意識と活動の向上を図ります。	参加者数	2,120人	2,210人	相乗効果を目的に、令和7年度から舞台部門と展示部門を同じ会場で開催しました。集客数は昨年度より約100名増え、展示部門、舞台部門それぞれの来場者が相互の部門を楽しむことができ、他の文化を知る、見る、学ぶきっかけになったことも成果です。	継続	2,000人				
	開催数						1回	1回	1回							
	開催経費						2,314,500円	1,680,000円	2,314,500円							
	収入						300,000円	265,000円	300,000円							
5		市役所本庁舎を使った美術 作品の展示	文化振興課		1-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	市が所蔵する美術作品を、来庁者の多い1階ロビーに展示する。 また、4階市民ミニギャラリーを、市民に広く絵画等の展示場所を提供することで、市民の文化芸術活動の発表の場を確保します。 これらの取り組みにより市民等が文化芸術に触れる機会を創出します。	参加者数			月単位で展示を替え、市民の文化芸術に触れる機会の創出に努めました。 知り合いや家族が展示を見に来ており、関心度が高まっています。また、展示を希望する問い合わせもあります。	継続					
	開催数						12回	12回	12回							
	開催経費															
	収入															
6	新	榊莫山生誕100年記念事業	榊莫山生誕100年記念展 覧会実行委員会 （事務局：文化振興課）	ICT,ギャラリーやま ほん、アートスペース いが、伊賀市文化 都市協会	1-Ⅱ 2-Ⅰ 7-Ⅰ	榊莫山の生誕100年を記念し、榊莫山の作品及び芸術的価値を紹介するとともに顕彰を行い、展覧会を通じて広く文化振興に寄与することを目的とする。	参加者数					1,500人				
	開催数								11月							
	開催経費								調整中							
	収入															
7		新図書館開館ブレ事業	中央図書館		1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	旧上野市庁舎での参加型の劇や展示などの開催を通じて、新図書館の開館に向けた機運の醸成を行い、図書館や読書への関心や親しみ、図書館利用につなげます。	参加者数	340人	498人	新図書館オープンまでに「旧上野庁舎SAKAKURA BASE見学会」を始め、イベントを8回実施しました。新図書館への関心を高めるため、施設見学や本に関するワークショップや演劇や映画の上映会を開催したことで開館までの期待感を高めることができました。イベント運営についての様々な意見（申込方法や当日運営の手法等）がありました。	終了		3ー5 生涯学習	満足度 参画度	49.4%	40.0% 0.0%
	開催数						8回	8回								
	開催経費															
	収入															
8		第3回悠々セミナー 映画鑑賞会「そして父になる」	生涯学習課	三重県生涯学習センター	1-Ⅰ	映画館がない伊賀市において、大きなスクリーンによる映画に親しんでいただく機会とします。	参加者数	50人	68人	アンケート結果をみると、映画を鑑賞された方々は満足され、映画鑑賞会の継続を希望される方がほとんどでした。	継続	50人				
	開催数						1回	1回	1回							
	開催経費						0円	1,640円	0円							
	収入						0円	0円	0円							
9		青山ふるさと美術文化展覧会	青山文化サークル連絡協議会	生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	青山地域で日頃行われている活動の成果を発表・展示することで、多くの市民への文化意識の向上につなげます。	参加者数	300人	300人	日頃の文化芸術活動の成果を展示することで、来場者に文化芸術の魅力を発信することができました。	継続					
	開催数						1回	1回								
	開催経費															
	収入															
10		青山ふるさと芸能発表会	青山文化サークル連絡協議会	生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	青山地域で日頃行われている活動の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげます。	参加者数	300人	230人	各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができました。	継続					
	開催数						1回	1回								
	開催経費															
	収入															

令和 7 年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

11		サークルまつり	上野サークル協議会	生涯学習課	1-Ⅱ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	上野サークル協議会会員の紹介、活動発表および会員相互の交流を図ります。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげます。	参加者数	300人	500人	日頃の文化芸術活動の成果を展示することで、来場者に文化芸術の魅力を発信することができました。	継続					
							開催数	1回	1回							
							開催経費	200,000円	183,277円							
							収入									
12		やまなみ文化祭	やまなみ文化協会	生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	やまなみ文化協会加盟団体の紹介、活動発表および会員相互の交流を図ります。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげます。	参加者数			各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができました。	継続					
							開催数	1回	1回							
							開催経費									
							収入									
13		あやま文化交流会	あやま文化協会	生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	地域に活力と潤いのある文化的な街づくりを目指した活動および会員相互の交流を図ります。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげます。	参加者数	300人	320人	各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができました。 補助金交付対象事業ですが、令和8年度をもって終了するため、継続していくための手段等を見直す必要があります。	継続					
							開催数	1回	1回							
							開催経費	60,000円	65,977円							
							収入	50,000円	50,000円							
14		島ヶ原文化サークルまつり	島ヶ原文化サークル連絡協議会	生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	サークル団体の活動発表および会員相互の交流を図ります。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげます。	参加者数	60人	95人	各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができました。ただ、来場者が固定化されているのが課題です。	継続					
							開催数	1回	1回							
							開催経費	30,000円	41,810円							
							収入									
15		伊賀市健康マイレージ	健康推進課	伊賀市文化都市協会	7-Ⅰ	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図り、健康寿命を延伸する。賞品の中にクラシックコンサートチケットを入れることによりより多くの市民が文化芸術に触れあえる機会を創出します。	参加者数	300人	374人	令和7年度のコンサート開催日程がマイレージ参加者賞品抽選日程と合わず、実施できませんでした。	継続		2ー2 健康	満足度 参画度	66.2%	59.2%
							開催数									
							開催経費									
							収入									
16		作品展示（障害者週間啓発事業）	障がい福祉課	伊賀市障害者福祉連盟、市内障害福祉サービス事業所など	1-Ⅱ 2-Ⅰ 7-Ⅰ	障害者基本法に基づき、毎年12月3日から12月9日までの期間は「障害者週間」と定められている。この期間を利用して、障がいに関する啓発活動を行うことにより、地域住民の理解と認識を更に深めることを目的とします。	参加者数			ギャラリー列車及びにんまるバス内、伊賀市役所本庁1回市民スペースに法人等より作品の提供をいただき展示しました。障がいのある人の作品を見ていただくことで、障がいに関する理解や認識の向上につながりました。今後は展示場所を増やす等により、作品を通じて多くの市民への啓発を図ります。	R8の事業無し		2ー5 障がい者福祉	満足度 参画度	44.1%	26.6%
							開催数	1回	1回							
							開催経費									
							収入									

【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充（施策の方向Ⅰ 子どもたちの心を豊かに、Ⅱ 成長に即した文化芸術の提供）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R7計画時	R7実績	R7目的達成度、課題など	めざす姿	R8計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
															R6	R7速報値
17		読み聞かせ会	中央図書館・北部図書館・南部図書館、生涯学習課	読み聞かせボランティア（いがぐり、よもよも、ちいさなねこ、おはなしコットン、はあと＆はあと、きらきら、だっこ、ひつじ、どようっこ、お話の国アリス、kikoきこ、みなみ風 他個人）	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	幼い頃から、読み聞かせをすることで、言葉やおはなしの世界を知り、本に親しむ機会を作る。また、図書館（室）での読み聞かせ会に参加することで、絵本や本、図書館に親しみをもち、読書や図書館利用につなげていきます。	参加者数			・参加者数が減少していることから、周知方法の検討が必要です。 ・事業の担い手である読み聞かせボランティアの新規参加や新規参加や育成が必要です。	継続	75回	3ー5 生涯学習	満足度	49.4%	40.0%
							開催数	106回	93回							
							開催経費									
							収入									

令和7年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

18		ファミリースマイルアップ講座	男女共同参画センター 子育て支援室 伊賀市文化都市協会		2-Ⅰ 2-Ⅱ	子育て世代の家族みんなで楽しく人権感覚を養うことで、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現につなげます。	参加者数		161人	10/5（日）多文化共生にも視野を広げるため『伊賀国際交流フェスタ2025』（とれたて市ひざっこ前駐車場）に出展。日頃、子育て支援センターを利用しているこどもや、保育園入園し子育て支援センターを利用する機会が減った親子、子育て支援センターを利用したことのない外国籍の親子が、木のボールプールや木のおもちゃで国籍の区別なく和気藹々とした雰囲気の中で共に遊ぶことができました。見守っている保護者には子育て支援センターや男女共同参画センターを知ってもらうきっかけになったため、今後も続けていきたいと思います。（63組参加） 3/1（日）『～家族で過ごす楽しい休日～』開催。子育て包括支援センター（ハイトピア伊賀4階）で開催。第1部「フルートとピアノのコンサート」、第2部ドキュメンタリー視聴&人権ワーク、第3部手遊びと新聞紙遊びを紹介し、家族みんなで楽しい休日を過ごすことができました。（13組参加）	継続	200人	3ー1 こども	満足度	40.5%	29.2%
							開催数	2回	2回			1回				
							開催経費	20,000円	20,000円							
							収入									
19		学校アウトリーチ事業	（公財）伊賀市文化都市協会	学校教育課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 3-Ⅱ	音楽やアートに触れる機会が少ない教育現場にアーティストを派遣し、子どもたちに感動を与え心豊かに育つことを願った事業。4カ年にわたり市内全28小中学校で実施する方針です。	参加者数	1,268人	722人	4カ年の計画の最終年度でした。令和7年度を終えて市内の全小中学校で実施することができました。各学校において普段触れる機会が少ない本物の音楽に触れることができる経験は、児童生徒にとって感動を生む貴重な経験でした。 4カ年が終わりましたが、今後の継続が望まれる事業です。	継続	1,448人	3ー4 学校教育	満足度	47.7%	33.8%
							開催数	7回	7回			7回				
							開催経費									
							収入									
20		上野天神祭、学びのウォーク	生涯学習課	文化財課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	上野天神祭宵山の日に、上野天神祭のダンジリ行事や鬼行列について学ぶ機会を持ちます。	参加者数	20組	16組(37人)	降雨のため楼車に乗る体験はできませんでしたが、上野天神祭についての詳しく学ぶことができ、受講者の満足度は高かったです。 今後は、観光振興の側面からも伊賀市内にとどまらず、市外の子どもたちも参加できるような方策を取ることも考える必要があります。	継続	20組	3ー5 生涯学習	満足度	49.4%	40.0%
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	0円	0円			0円				
							収入	0円	0円			0円				
21		ふるさと学習事業 先人に学ぶ わら細工「しめ飾り」を作ろう	上野児童福祉会連合会	生涯学習課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 1-Ⅰ	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とします。	参加者数	20人	33人	参加した子どもたちは大いに学び、大いに楽しんでいた。子どもたちからは、学びにつながったという感想が多く寄せられました。						
							開催数	1回	1回							
							開催経費									
							収入									
22		ふるさと学習事業 歴史探訪～芭蕉翁記念館から芭蕉ゆかりの地を訪ねて～	上野児童福祉会連合会	生涯学習課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 1-Ⅰ 5-Ⅰ	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とします。	参加者数	20人	32人	参加した子どもたちは大いに学び、大いに楽しんでいた。子どもたちからは、学びにつながったという感想が多く寄せられました。	継続	20人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費									
							収入									
23		ふるさと学習事業 「伊賀の匠を訪ねて」	上野児童福祉会連合会	生涯学習課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 1-Ⅰ 5-Ⅰ	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とします。	参加者数	20人	33人	参加した子どもたちは大いに学び、大いに楽しんでいた。子どもたちからは、学びにつながったという感想が多く寄せられました。	継続	20人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費									
							収入									
24		ふるさと学習事業 「大村神社をはじめ青山地区を訪ね学習する」	上野児童福祉会連合会	生涯学習課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 1-Ⅰ 5-Ⅰ	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とします。	参加者数	20人	30人	参加した子どもたちは大いに学び、大いに楽しんでいた。子どもたちからは、学びにつながったという感想が多く寄せられました。	継続	20人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費									
							収入									
25		上野天神祭り、学びのウォーク	文化財課	生涯学習課・上野美術保存会	2-Ⅰ 2-Ⅱ	上野城下町や上野天神祭に触れ親しみ合う機会づくりの提供（上野天神祭県費補助の活用事業）	参加者数	20人	42人	雨天により企画していただんじり乗車体験が出来なかった。天候に左右されない体験メニューを検討します。 今年度は定住自立圏内からの参加者を募ったことにより、参加者数が増加しました。	継続	20人	6ー4 歴史・文化遺産	満足度	62.0%	52.3%
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費									
							収入									

令和7年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ（施策の方向Ⅰ人づくりとまちづくり、Ⅱ多様な人材活用による文化芸術の振興）																		
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的				R7 計画時	R7 実績	R7 目的達成度、課題など	めざす姿	R8 計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
																	R6	R7 速報値
26		こども能楽教室	生涯学習課		2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 5-Ⅰ	「能」をつくりあげた観阿弥のふるさと伊賀市において、日本の伝統文化である「能」を楽しく体験する機会とします。	参加者数	10人	5人	受講者は小学生5人と少なかったですが、一人一人が「能」の仕舞に一生懸命に取り組み、伝統文化である「能」にふれることができました。また、最終回には上野サークルまつりの開会行事の中で、練習の成果を披露しました。ただ、仕舞の練習は個別練習だったので、受講者が共に活動する機会がほとんどなく、また、費用対効果の面からも検討が必要です。	廃止		6ー4 歴史・文化遺産	満足度	62.0%	52.3%		
	開催数						15回	15回										
	開催経費						165,000円	185,000円						参画度			5.7%	
	収入						30,000円	15,000円										
27		上野城薪能	上野城薪能実施委員会 （文化振興課、（公財）伊賀市文化都市協会）		2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 5-Ⅰ	能楽創世観阿弥の生誕地である伊賀市において、毎年中秋の名月の頃に行われる上野城薪能を開催することで、伝統文化の継承、発信を図るとともに、市民等が伝統文化に触れる機会を創出します。	参加者数	300人	257人	企業団体からの協賛金は、社会経済状況を反映し前年と比べ抑制気味となったものの、想定よりも協力を得ることができました。また、経費削減努力をし、計画時より収入増、支出減につなげました。鑑賞者数は85%の入りとなりました。前年までの課題に対応し、呈茶券付き指定席の設定や電子チケットの導入などニーズに応じた新しい取り組みを行いました。	継続	300人	3ー6 文化・芸術	満足度	49.2%	42.9%		
	開催数						1回	1回	1回									
	開催経費						6,892,941円	6,006,566円	4,810,327円					参画度			8.1%	
	収入						6,892,941円	7,494,043円	4,810,327円									
28		伝統的工芸品文化振興事業 （伊賀焼）	産業政策課	伊賀焼振興協同組合	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 5-Ⅰ	伊賀市の伝統的工芸品である伊賀焼に親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高めること伊賀焼の認知度向上と振興を図ります。	参加者数	240人	260人	開催回数は減ったが、参加人数は目標を達成しました。年度ごとに市内小中学校から希望を募って実施するため、年度当初の目標設定が難しいが、事業としては継続していくべき内容です。		100人	4ー4 商工・労働	満足度	36.1%	28.4%		
	開催数						8回	6回	4回					参画度			2.1%	
	開催経費						711,700	680845										
	収入						0	0										
29		伝統的工芸品文化振興事業 （伊賀くみひも）	産業政策課	三重県組紐協同組合	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 5-Ⅰ	伊賀市の伝統的工芸品である伊賀くみひもに親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高めること伊賀くみほもの認知度向上と振興を図ります。	参加者数	20人	21人	開催経費を縮減しつつ、目標回数、人数を達成しました。伝統産業の振興のため継続していくべき事業です。		20人						
	開催数						4回	4回	2回									
	開催経費						450,000	410,411										
	収入						35,000円	13,000円										
30		伊賀くみひも作り（子どもと保護者の体験教室）	生涯学習課	三重県組紐協同組合	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ	伊賀市の伝統産業であるくみひも作りを子どもの頃から体験し、組紐とはどういうものか、その美しさと昔から続く技術にふれ、組紐の魅力に関心を持ち、伝承することの大切さを感じる機会とします。	参加者数	20組（40人）	21組(45人）	募集20組に対して42組の応募があり、小学生・保護者にとってニーズの高い教室で、実際受講した方も自分で作った組みひもを手に入れることができ、十分に満足感を得ることができました。ただ、原材料費の高騰に伴い、事業費が高むなら、住民ニーズには反しますが、募集人員を減らす等の方策を取らざるを得ないと考えます。	廃止		3ー5 生涯学習	満足度	49.4%	40.0%		
	開催数						1回	1回						参画度			0.0%	
	開催経費						80,000円	90,000円										
	収入						40,000円	45,000円										
31		陶芸教室（子どもと保護者の体験教室）	生涯学習課	伊賀焼伝統産業会館	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ	伊賀市の伝統文化の一つである陶芸を、産地の丸柱で体験することで、伊賀焼の楽しさやその趣深さを学びます。	参加者数	20組（40人）	16組(34人）	募集20組に対して70組の応募があり、小学生・保護者にとってニーズの高い教室で、実際受講した方も自分で作った焼き物を手に入れることができ、十分に満足感を得ることができました。ただ、各地域の事業で陶芸教室を実施するところも出てきており、内容の見直しも必要です。		20組(40人)						
	開催数						1回	1回	1回									
	開催経費						34,000円	28,900円	34,000円									
	収入						0	0	0円									

【基本方針４】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備（施策の方向Ⅰ 施設の管理と機能の発揮、Ⅱ 施設の保存と有効活用）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R7計画時	R7実績	R7目的達成度、課題など	めざす姿	R8計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
															R6	R7速報値
32		文化ホール改修事業	文化振興課		4-Ⅰ 4-Ⅱ	経年劣化した設備の改修等を行います。また、施設長寿命化計画により施設利用スケジュールや財源調整等により今後大規模改修を行います。	参加者数			伊賀市文化会館等の文化ホールの経年劣化部分の修繕を実施しました。非常用電源装置の自家発電機更新工事については機器の納期に1年を要するため令和8年度へ繰り越しました。	継続		3ー6 文化・芸術	満足度	46.6%	42.9%
	開催数															
	開催経費						99,128,700円	10,963,700円	19,733,000円							
	収入															
33		文化施設改修事業	文化振興課		4-Ⅰ 4-Ⅱ	文化財としての価値を後世に継承するため、経年劣化した施設を計画的に改修等を行います。	参加者数			経年劣化した、重要文化財俳聖殿附門の茅葺屋根の葺き替え工事を実施。現場見学会を行い、文化財に触れる機会を提供しました。	継続					
	開催数															
	開催経費						11,933,900円	7,039,900円	2,680,000円							
	収入															

令和 7 年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

34		伊賀市美術館博物館建設	文化振興課		1-Ⅰ 1-Ⅱ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	伊賀市文化振興ビジョンでは、基本方針として「誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出」や、「施設の整備・有効活用により文化芸術環境を整える」ことを掲げています。 このため、市に寄贈された美術作品や文化財などを適切に保管・研究・活用するための美術博物館について、過去より建設の議論が行われてきた芭蕉翁記念館の機能も含めた施設を整備します。	参加者数			令和7年度に伊賀市美術博物館基本計画（中間案）が完成。 令和8年度にパブリックコメントを募集し、伊賀市美術博物館基本計画の答申を実施します。 また、建設候補地の検討を継続します。	継続					
							開催数									
							開催経費	29,649,950円	29,649,950円							
							収入									

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造（施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造）

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R7計画時	R7実績	R7目的達成度、課題など	めざす姿	R8計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
															R6	R7速報値
35		デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀	伊賀市（中央図書館・文化財課・文化振興課）	（一社）伊賀上野観光協会	1-Ⅰ 1-Ⅱ	伊賀市等が所蔵する多くの歴史資料等をインターネット上で公開することで、子どもたちが学校の授業で学ぶとともに、地域においても文化活動として役立てていただくため、また、全国の人に伊賀の歴史や文化を知っていただくため、魅力発信ツールとして活用していきます。	参加者数	96人	90人	貴重な資料を本事業を通じ多くの方に閲覧してもらえることができました。 郷土教育担当の教職員の研修の場において、使用説明を行うことができ郷土教育の一助になっています。市民への更なる周知が必要です。	継続		3ー5 生涯学習	満足度 参画度	49.4%	40.0%
					2-Ⅰ 2-Ⅱ		開催数	13回	12回							
					3-Ⅰ 3-Ⅱ		開催経費	792,000円	792,000円			792,000円				
					4-Ⅰ 4-Ⅱ		収入									
36		郷土の歴史夜咄会	中央図書館		1-Ⅰ 1-Ⅱ	郷土史を次世代に伝え、研究する人材を育むことを目的に、学びの機会を提供します。	参加者数	60人	60人	毎回参加いただける固定層（60歳以上の方）が多く好評を得ています。 地域にゆかりのある方をテーマとするため、関係者の参加も見受けられます。	継続					
					2-Ⅰ 3-Ⅰ		開催数	5回	4回			4回				
					3-Ⅱ 4-Ⅰ		開催経費									
					5-Ⅰ 5-Ⅱ		収入									
37		歴史貴重資料企画展示	中央図書館		1-Ⅰ 1-Ⅱ	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出にもつなげていきます。	参加者数			報道取材等により周知に繋がっているが、図書館利用者に占める本事業の閲覧者が少ないです。	継続					
					2-Ⅰ 4-Ⅰ		開催数	4回	4回			4回				
					4-Ⅱ 5-Ⅰ		開催経費									
					5-Ⅱ		収入									
38		芭蕉祭（式典・月見の献立・全国俳句大会等）	文化振興課（公財）芭蕉翁顕彰会（一部委託）		1-Ⅰ 2-Ⅰ	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進めます。	参加者数	200人	400人	芭蕉祭のためのフェスティバルバンドや子ども合唱団などボランティアの力は大きく、「良かった」と感想が寄せられました。 屋外での式典でありながら、天候に対応できる策ができていません。	継続	400人	3ー6 文化・芸術	満足度 参画度	46.6%	42.9%
					4-Ⅱ 5-Ⅰ		開催数	1回	1回			1回				
					6-Ⅰ 6-Ⅱ		開催経費	11,118,748円	11,118,748円			11,411,000円				
					7-Ⅰ 7-Ⅱ		収入									
39		芭蕉翁俳句懸垂幕掲示	文化振興課		1-Ⅰ 4-Ⅱ	芭蕉翁の生誕地であることをPRするとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを季節に合った「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努めます。	参加者数			行政情報チャンネルで2回放送されました。市役所に掲示することで伊賀市が松尾芭蕉のふるさとであることのPRになり、市外から訪れる人の周知につながっています。	継続					
					5-Ⅰ 5-Ⅱ		開催数	4回	4回			4回				
					6-Ⅰ 6-Ⅱ		開催経費	176,000円	176,000円			176,000円				
							収入									
40		芭蕉翁記念館企画展・特別展	文化振興課		1-Ⅰ 3-Ⅰ	芭蕉翁の生誕地伊賀市を市内外にPRするとともに、芭蕉及び俳文学全般への関心を高めます。	参加者数	10,000人	10,309人	芭蕉翁生誕380年にあたる昨年（10,146人）より減少することは予想しており、思っていたよりは減少は小さかったが、依然として来館者は減少傾向です。市内からの来館者の少なさ、市外での認知度の低さが課題です。	継続	10,000人				
					4-Ⅰ 4-Ⅱ		開催数	4回	4回			4回				
					5-Ⅰ 5-Ⅱ		開催経費	3,640,000円	3,550,000円			3,640,000円				
					6-Ⅰ		収入	2,760,000円	2,507,000円			2,760,000円				
41		芭蕉翁記念館展示解説会	文化振興課		1-Ⅰ 3-Ⅰ	芭蕉翁記念館の展示について解説し理解を深めてもらうとともに、展示の観覧に付加価値を与えリピーターの増加を図ります。子どもの参加者が期待できる連休中には体験的な内容もあわせて実施し、子どもたちへの啓蒙も目指します。	参加者数	96人	71人	これまで公開中の芭蕉の真筆を中心とした解説を月1回程度実施していましたが、企画展全体の解説がほしいとの声を受け、冬の企画展から企画展ごと開催しました。毎回参加するリピーターが多いものの新規参加者は少ないです。	継続	48人				
					4-Ⅰ 4-Ⅱ		開催数	13回	11回			6回				
					5-Ⅰ 5-Ⅱ		開催経費									
					6-Ⅰ		収入									
42		芭蕉祭記念講演会ー歌枕俳枕講座ー	文化振興課	生涯学習課	1-Ⅰ 5-Ⅰ	芭蕉祭の関連行事として、文部科学大臣賞を受賞された方を講師として講演会を行い、芭蕉顕彰につなげます。	参加者数	50人	67人	計画時の目標を上回る参加者が得られました。芭蕉祭の事業の一環と考えると、より多くの人に参加してほしいです。また、市外や若年層への参加者の獲得が課題です。	継続	60人				
					6-Ⅰ 6-Ⅱ		開催数	1回	1回			1回				
					7-Ⅰ		開催経費	122,000円	103,000円			122,700円				
							収入									
43		しぐれ忌	文化振興課（公財）芭蕉翁顕彰会、山出区		1-Ⅰ 2-Ⅰ	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進めます。	参加者数	100人	100人	会場となる松尾家ゆかりの萬壽寺や芭蕉公園では、開催にあたり、環境整備や当日の来場者へのおもてなし等が実施され、地元山出区の献身的な協力が不可欠です。メインとなる式典や講演会は滞りなく実施でき、会場には献詠句などの掲示や寄せ植えなど各種展示が花を添えました。	継続	100人				
					4-Ⅱ 5-Ⅰ		開催数	1回	1回			1回				
					6-Ⅰ 6-Ⅱ		開催経費	300,000円	300,000円			300,000円				
					7-Ⅰ 7-Ⅱ		収入									

令和7年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

44		土芳を偲ぶ俳句会	(公財) 芭蕉翁顕彰会 文化振興課		1-Ⅰ 2-Ⅰ	芭蕉翁とその弟子である土芳の功績を世に発信し、俳 諧及び俳句の啓発を推進します。	参加者数	50人	26人	芭蕉の門人の服部土芳の命日に、句会を行いました。	継続	30人				
					4-Ⅱ 5-Ⅰ		開催数	1回	1回			1回				
					6-Ⅰ 6-Ⅱ		開催経費	60,000円	57,200円			60,000円				
					7-Ⅰ 7-Ⅱ		収入									
45		文学振興事業	伊賀文学振興会 文化振興課		1-Ⅰ 2-Ⅰ	伊賀にゆかりの作家、作品の顕彰等を通じて、地域文 化としての文学の振興を図ります。	参加者数			岸宏子文学記念館を拠点に、読書会や初めての連句等を実施しました。 『「雪解」のつどい』では、横光利一の本籍地である大分県宇佐市から 講師を招き、宇佐市での横光利一継承の取り組みを講演いただきました。 他の自治体の取り組みを知る機会となりました。	継続					
					3-Ⅱ 5-Ⅰ		開催数	3回	3回			3回				
					5-Ⅱ 7-Ⅰ		開催経費	400,000円	400, 000円			400,000円				
							収入	2,000円	2,000円							
46		いがまち3偉人展示	伊賀支所	いがまち3偉人顕彰 会	2-Ⅰ 4-Ⅰ	文豪横光利一、俳聖松尾芭蕉、医学博士橋本策の偉業 を讃え、顕彰を行います。	参加者数	50人	12人	見学者が少ないことと、見学者記録簿への記入がされないことがあるこ とが課題です。3偉人展示に係る周知方法の見直しと見学者記録簿への 記入を促す工夫が必要です。	継続	50人				
					4-Ⅱ 5-Ⅰ		開催数	通年	通年			通年				
							開催経費									
							収入									

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造（施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R7計画時	R7実績	R7目的達成度、課題など	めざす姿	R8計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
														R6		R7速報値
47		「上野天神祭ダンジリ行 事」のお囃子の演奏を体験 しよう！ （子どもと保護者の体験教 室）	生涯学習課	上野福居町囃子方の 皆さん	2-Ⅰ 2-Ⅱ	だんじり町の子どもたち以外でははなかなか体験する ことのできないお囃子を、指導を受けながら体験する ことによって、伊賀市の伝統的な「上野天神祭のダン ジリ行事」への参画や、文化継承に興味を持ってもら うことです。	参加者数	10組	3組（7人）	参加申し込みがありながら、当日欠席の家族もあり少人数の事業となっ たが、子どもだけでなく保護者もお囃子演奏を体験していただき、保護 者からも結果的に好意的な感想が寄せられました。	継続		3ー5	満足度	49.4%	40.0%
					5-Ⅰ		開催数	1回	1回				生涯学習			
							開催経費							参画度		0%
							収入									
48		上野天神祭お囃子体験会	生涯学習課	生涯学習課・上野文 化美術保存会	3-Ⅰ 3-Ⅱ	江戸時代から語り継がれてきた無形民俗文化財の継承 （上野天神祭県費補助の活用事業）	参加者数	10人	10%	申込数は5組であったが、当日のキャンセルが1組あり、2月22日の忍 者の日にイベントが重なってしまい、参加者数が伸びませんでした。次 回開催時は他のイベント等に注意します。低学年の参加者が多かったた め、行事の説明が難しかったようなので年代に合わせた内容で実施した いです。	継続	10人	6ー4	満足度	58.5%	52.3%
							開催数	1回	1回			1回	歴史・文 化遺産			
							開催経費							参画度		5.7%
							収入									
49		オオサンショウウオ観察会	文化財課	生涯学習課・大山田 郷土の広場	2-Ⅰ 4-Ⅰ	特別天然記念物に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数	10人	10人	例年7月に開催している観察会を、選挙のため8月に実施しました。繁 殖期には活性が鈍いため、発見には至りませんでした。 水生生物の観察や夜間の河川の様子を観察することが出来ました。	継続	10人				
					4-Ⅱ 5-Ⅰ		開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	9,000円	1,020円							
							収入									
50		史跡伊賀国庁跡にかかる文 化財ウォーク及び文化財講 演会	府中地区住民自治協議会	文化財課	1-Ⅰ 2-Ⅰ	史跡伊賀国庁跡の保存整備事業に伴い、史跡伊賀国庁 跡や府中地区の歴史・文化の理解を深め、文化財の保 存と継承を図っていくため、文化財ウォーク（秋）と 文化財講演会（冬）を実施しています。	参加者数	40人	60人	本年度は、11月19日に伊賀国庁跡・鷲棚古墳群・勘定塚古墳を訪れる 文化財ウォークを実施し、史跡を見学し説明を実施しました。（30人） また、2月20日に講演会を実施した。「かりうち」という古代のボード ゲームを使用し、講演会だけでない試みも実施しました。（30人）	継続	40人				
					5-Ⅰ		開催数	2回	2回			2回				
							開催経費									
							収入									
51		文化財特別公開	文化財課	(公財) 伊賀市文化 都市協会	1-Ⅰ 2-Ⅰ	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史 や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財 の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、 身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化 を理解を深め、文化財の保存と継承を図ります。	参加者数	30人	179人	令和7年4月17日：10人 敢国神社文化財保存修理事業の事業報告会を実施。獅子舞や用具につい て説明を実施しました。 令和8年1月18日：10人 常住寺文化財保存事業報告会を実施。修理を実施する閻魔堂と保存事業 について説明を実施し、藤堂家ゆかりの寺院を訪問しました。 令和8年1月25日：85人 史跡上野城跡保存活用計画策定事業に合わせ、定住自立圏内での講演会 を実施。 令和8年2月14日：29人 重要文化財である町井家住宅・書院保存修理事業の見学会と講演会を実 施。 令和8年3月7日：45人 観音提寺楼門に安置される木造多聞天立像の保存修理事業に合わせて講 演会を実施。	継続	30人				
					5-Ⅰ 4-Ⅱ		開催数	1回	5回			1回				
							開催経費									
							収入									

令和 7 年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

52		文化財講座	文化財課	(公財) 伊賀市文化都市協会	1-Ⅰ 2-Ⅰ 5-Ⅰ	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図ります。	参加者数	50人	541人	令和 7 年 6 月 20 日：楽学ななくり（20人） 令和 7 年 7 月 6 日：米原市湖北センゴクセミナー（120人） 令和 7 年 9 月 19 日：青山中学校 1 年（10人） 令和 7 年 7 月 12 日：長田地区住民自治協議会（30人） 令和 7 年 10 月 25 日：コロナクラブ（30人） 令和 7 年 11 月 1 日：くまの高虎研究会（30人） 令和 7 年 11 月 1 日：伊賀文化産業城 90 周年事業（30人） 令和 7 年 11 月 2 日：景観シンポジウム（60人） 令和 7 年 11 月 16 日：三重県総合博物館（60人） 令和 7 年 11 月 17 日：猪田神社（20人） 令和 7 年 11 月 25 日：万寿寺（30人） 令和 7 年 12 月 5 日：あけぼの学園高校 1 年（11人） 令和 7 年 12 月 19 日：壬生野歴史文化継承ワークショップ（30人） 令和 8 年 2 月 22 日：島ヶ原地域まちづくり協議会（30人） 令和 8 年 2 月 22 日：関西城郭研究会（30人）	継続	100人				
							開催数	1 回	15回			3回				
							開催経費									
							収入									
53		大山田郷土資料館企画展	大山田郷土の広場	文化財課	1-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 6-Ⅰ	大山田地域の文化や歴史遺産に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数	100人	329人	第 9 回企画展「大山田の近代化遺産」、第 10 回企画展「里人の祈り」が開催され、講師を招へいしての講演会や現地説明会なども企画され、参加者数の増加につながりました。	継続	100人				
							開催数	2回	2回			2回				
							開催経費	60,000円	60,000円			60,000円				
							収入									
54		三重大学伊賀連携フィールド市民講座	三重大学伊賀連携フィールド	三重大学、上野商工会議所、地域力創造部交流政策課	1-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ	三重大学伊賀連携フィールドを拠点として、国立大学法人三重大学、上野商工会議所、伊賀市の三者間で連携協力し、教育・文化・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題に適切に対応することにより、伊賀地域の充実・発展に資することです。	参加者数	7,500人	5,572人	実績は対面開催の参加者数＋Youtube動画再生回数を記載しています。今年度はYoutube動画再生回数が大幅に減少したことにより、全体の実績は伸び悩みました。その反面、対面での参加者は昨年度よりふえていることから、より多くの市民へ周知されています。実績内訳：対面参加者1,258人 Youtube動画再生数回数4,314回	継続	7,500人	4－6 関係人口	満足度	29.1%	20.7%
							開催数									
							開催経費									
							収入									

【基本方針 6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信（施策の方向Ⅰ 文化をツールとした地域活性化、Ⅱ 都市の文化的な顔づくり）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R 7 計画時	R 7 実績	R 7 目的達成度、課題など	めざす姿	R 8 計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
															R 6	R 7 速報値
55		伊賀上野・城下町のおひなさん	伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会 （産業農林部観光振興課）	上野西部地区住民自治協議会産業建設まちづくり部会・上野東町自治会・上野中町商店会・七福神商店会・三重県菓子工業組合上野支部・伊賀鉄道株式会社・上野商工会議所・株式会社まちづくり伊賀上野・公益財団法人伊賀市文化都市協会・伊賀焼振興協同組合・全日本和装作法伊賀学院	6-Ⅰ	中心市街地である城下町の風情ある街並みや観光資源をアピールし、集客交流の促進、地域の活性化や振興を目的に実施する。	参加者数	1,500	1,345	昨年度と比較し、参加者数が1,345人となり目標値に届かなかったものの、アンケートと兼ねて毎年行っているスタンプラリー応募者については昨年度と比較して増加しており、満足度についても大きく変動が無いため、ほぼ例年通りの規模と言えます。 現在、行政が事務局となり、主として事業を進めているが、今後も事業を継続していくためには、企画運営を実行委員会が主体的に進められる体制の構築が必要です。	継続	1,500人	4-5 観光	満足度	41.7%	36.2%
							開催数	1	1			1回				
							開催経費	332,000	341,616			未定				
							収入	332,000	341,616			未定				
56		日本遺産 忍びの里伊賀・甲賀 ～リアル忍者を求めて～ 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事業	産業農林部観光振興課 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会	伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会・一般社団法人甲賀市観光まちづくり協会・信楽町観光協会・一般社団法人伊賀上野観光協会	1-Ⅱ 3-Ⅱ 4-Ⅱ 6-Ⅰ	日本遺産の認定（平成29年4月28日認定）を受けた伊賀・甲賀が世界に誇る共通の観光資源である忍者について、伊賀流と甲賀流が連携することで、広域的に観光振興を図ることを目的とする。	参加者数	-	-	「忍びの里伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」の構成文化財を活用したガイド育成事業、構成文化財に関する観光案内看板等の周辺整備、都市圏での観光PR、インバウンド向けLPサイト・公式HP・SNS等による情報発信などを実施しました。	継続	-				
							開催数	-	-			-				
							開催経費	95,916,000	67,989,800			85,257,200				
							収入	95,916,000	67,989,800			85,257,200				

令和7年度伊賀市文化振興プラン事業カード提出一覧（伊賀市）

57		ライトアップイベントお城のまわり	お城の周りライトアップイベント実施委員会（中心市街地推進課）	伊賀市文化都市協会・伊賀上野観光協会・上野商工会議所・まちづくり伊賀上野	6-Ⅰ 6-Ⅱ	市街地の歴史的・文化的建造物等をライトアップすることで、地域資源のすばらしさを市民及び来街者に再確認してもらう。	参加者数	18,000人	18,000人	来場者数は、目標値18,000人を達成し、コロナ前の水準まで戻ってきました。また、アンケート結果から非常に満足度が高くイベントとなっています。さらに多くの人に来てもらい、伊賀上野を知ってもらえるよう、情報発信や座れる場所の設置などより充実した内容を検討します。	継続	18,000人	3-4 中心市街地活性化	満足度 参画度	30.9%	27.8%
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	3,350,691円	3,221,293円			3,350,000円				
							収入	3,350,691円	3,418,724円							

【基本方針7】文化芸術を通した社会的課題への取り組み（施策の方向Ⅰ 社会参加のきっかけづくり、Ⅱ 協働の場の創造）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン	事業目的		R7計画時	R7実績	R7目的達成度、課題など	めざす姿	R8計画時	市総合計画	まちづくりアンケート		
															R6	R7速報値
58		人権を考える市民の集いほか（差別をなくす強調月間中の人権講演会等各地区つどい事業）	人権政策課 教育委員会事務局	人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会、伊賀人権擁護委員協議会、伊賀市同和教育研究協議会	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	11月11日から12月10日の差別をなくす強調月間に、各支所において人権講演会や人権コンサートを実施し、市民の人権意識の高揚を図ります。	参加者数	1000人	900人	12月7日の人権を考える市民の集いのほか、おおよまだ人権フェスティバル、差別をなくすいがまちのつどい、青山人権のつどい、おやま人権フェスティバルなど、市内各地で人権講演会を開催し、さまざまな人権問題について考える機会をもつことができました。昨年に比べ、参加者は増加したものの、計画時の目標までは届かず、また参加者層についても、全体の約7割以上が50代以上の参加者であるなど、参加者層にも偏りが見られるので、保護者層や若年層へも参加していただける工夫が必要です。	継続	1,000人	3-2 人権・平和	満足度 参画度	54.9%	45.3%
							開催数	5回	5回			5回				
							開催経費	1,266,420円	1,074,927円			1,152,105円				
							収入									
59		いきいき未来いが開催事業	いきいき未来いが実行委員会 人権政策課	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	男女がともに、男女共同参画の意義・目的を学びあい、性別に関わらずあらゆる場へ参画できる社会の実現をめざします。	参加者数	400人	457人	参加を公募しているものの、関係団体からの参加が多いためアンケート結果が目標を大きく超えてよい結果となっています。よくて当たり前という見方もありますが、この層をきっかけに広く全体の意識改革を目指していくため、意味のある結果と考えます。しかし先述のとおり広く一般に認知されておらず関係団体以外からの参加者が少なく、また、年齢層も50歳以上の参加者が86%と若者の参加が少ない状況です。働く世代をターゲットにするため、協賛企業等の団体への広報を強化する等、新たな広報手段を模索する必要があります。	継続	400人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	1,140,550円	787,672円			1,140,550円				
							収入									
60		ひゅーまんフェスタ	ひゅーまんフェスタ実行委員会 （人権政策課）	伊賀市、伊賀市教育委員会、伊賀市障害者福祉連盟、伊賀市国際交流協会、伊賀人権擁護委員協議会、部落解放同盟伊賀市協議会、伊賀市人権学習企業等連絡会、人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会、僕らの移住生活	1-Ⅰ 2-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	「伊賀市人権尊重都市宣言」に則り、すべての市民の人権が保障される明るく住みよい地域社会を築くために、市民一人ひとりが、さまざまな人権課題の解決に向けて、さまざまな視点から学び、考え、行動するきっかけとなることを図ります。	参加者数	180人	150人	昨年までひゅーまんフェスタの中で行っていた、中学生の広島派遣報告および、人権講演会を別の事業で開催することとし、ひゅーまんフェスタにおいては、各団体の交流を中心とした事業を行いました。その結果、参加者数でみると、昨年よりやや減少し、目標としていた参加人数には届かなかったものの、約半数が「初めて参加した」という結果となり、チラシやポスターを見たり、知人や家族からの紹介により、今まで参加に結び付かなかった方への参加に結び付いたのではないかと考えます。	継続	180人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	488,528円	259,836円			399,636円				
							収入									
61		文化振興プランに伴う意見交換会	文化振興課 （公財）伊賀市文化都市協会		1-Ⅰ 2-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	伊賀市文化振興プラン前期実行計画に基づき、文化芸術に対し市民（地域や事業者などを含む）と行政、公益文化団体が定例的に意見交換を行い、相互の取り組みに理解を深めるとともに協力・連携・協働に向けて話し合うことで、市民文化と都市文化の発展につなげます。	参加者数	40人	31人	主体者同士で目的を定め、ブレない進行を務めました。開催にあたり、外国人を支援する団体にも実態や取り組み等を紹介してもらいました。結果、多くの参加者から「勉強になった」との意見があり、また、「違いを認め合うことの大切さ」などの意見も寄せられました。	継続	40人	3-6 文化・芸術	満足度 参画度	49.2%	42.9%
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	11,300円	11,300円			20,000円				
							収入									